



センターからのお知らせ



近年、アマミノクロウサギをはじめとした希少野生動物の交通事故が多発しています。そこで、様々な機関が野生動物の交通事故対策を行っています。昨年度から実施されている大和村、奄美市と天城町の取り組みをご紹介します。

2022年アマミノクロウサギ死体確認数

(2022年1～4月末時点)

・奄美大島

交通事故 **18** 件 イヌ・ネコによる捕殺 **9** 件

その他・不明 **28** 件

・徳之島

交通事故 **5** 件 イヌ・ネコによる捕殺 **7** 件

その他・不明 **5** 件

※不明は死体の損傷がひどく、死因が特定できなかったものことです。この中にも交通事故やイヌ・ネコによる捕殺が含まれると思われる。



■奄美市道三太郎線周辺の夜間利用調整について

奄美市道三太郎線周辺はアマミノクロウサギのナイトツアーで有名ですが、交通事故も昔から多発していました。そこで、2021年10月末より台数制限や速度制限を盛り込んだ自主ルールの試行が始まりました。夜に三太郎線を利用される際は、事前に予約した上で、入口の看板やHPの利用ルールをよく読んで生き物に優しい運転をお願いいたします。

■大和村マテリア線の侵入防止ネットの設置について

大和村マテリア線の約400m区間では、2020年から2021年にかけて事故が集中して起こっていました。これを受けて、大和村と大和建友会が、アマミノクロウサギが道路に侵入できないようにネットを設置しました。そのほか、ドライバーが気づけるようにアマミノクロウサギの形をした看板などが設置されています。



■天城町県道618号線(松原轟木線)の侵入防止ネットの設置について

徳之島の北部を走る県道618号線では過去5年半で20件もアマミノクロウサギの交通事故が発生しています。これを受けて、2021年11月に天城町の子供たちが松原側の道路沿いに、アマミノクロウサギが道路に侵入できないようにネットを設置しました。また、子供たちの手作り看板も多数設置しました。その後、交通事故はほとんど発生していないため、子どもたちの頑張り功を奏しているのかもしれません。



気をつけて運転してね!



アマミノクロウサギがケガをしていたり、死んでいるのを発見したら奄美野生生物保護センターまでご連絡ください。

頭花

今期の一枚 外来種「タチアワユキセンダングサ」

奄美では普通に目にする侵略的外来種のキク科の植物。原産は熱帯アメリカで、日本では江戸時代に渡来し、九州南部・沖縄・小笠原諸島など温暖な地域に広く分布している。花は一年を通して開花しており中心付近に筒状花、外側に発達した舌状花から成っており、キク科らしい花の構造をしている。よく似た種にシロバナセンダングサがあるが、本種の方が大きな舌状花を持っており、豪華な印象がある。



タチアワユキセンダングサ
頭花の大きさは直径約3cm



ぜつしようか
舌状花

とうしようか
筒状花

よく似たシロバナセンダングサ
(シロノセンダングサ)
頭花の大きさは直径約2cm



2022.6.8 発行

奄美野生生物保護センター

〒894-3104 鹿児島県大島郡大和村思勝 551

TEL: 0997-55-8620 FAX: 0997-55-8621

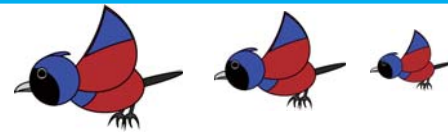
URL: <http://kyusyu.env.go.jp/okinawa/awcc/>

奄美野生生物保護センター

ニュースレター

編集・発行
奄美自然体験活動推進協議会
通巻66号

奄美の風だより



センター&協議会 News



「センターの水槽に仲間が増えました！」

センターの淡水水槽がエビしかおらずとてもさみしかったので、4月28日木曜日にセンター近くの池と横の大和川にて採集を行いました。あいにくの雨でしたが、川では貝やハゼ類、エビなどがたくさん捕れました。センターの新しい仲間たちを是非見に来てください。なお、川にはボタンウキクサ、池にはカダヤシといった外来種もいました。外来種は元々人間によって持ち込まれ、野外に放たれた生き物です。今の命ある外来種は殺処分されてしまいます。生き物を飼う人は、「責任を持って最後まで飼う」「野外に絶対に放さない」をしっかり守り、生き物の飼育・観察を楽しみましょう。



採集風景 (大和川)



日本最大のカワニナ
「スグカワニナ」

(殻の大きさは約9cmに達する)

ミナミテナガエビの子ども



今の時期に見られる動植物



ハマボス

サクラソウ科の越年草で、国内では北海道から沖縄まで広範囲に分布する。5~6月が開花の盛りで、奄美でも海岸に行くとなるとたくさん観察することができる。



オットンガエル 鹿児島県指定天然記念物

奄美大島と加計呂麻島のみで生息している大型のカエル。4~10月が繁殖期で、夜鳴き声を聞く機会が増える。オスの方がメスよりも前足が太くがっしりしている。(写真は♂)

奄美群島市町村だより

自分たちの地域の魅力を再発見し、また他の地域のことを知り、奄美の自然について理解を深めましょう。



今回は

天城町 です



天城町は徳之島の北西部に位置し、晴天時には多くの場所で美しい夕日を眺められます。特に前野展望台からの眺めは最高です！

天城町の木 「蘇鉄（ソテツ）」

樹勢が衰えたら、鉄分を補給すると回復する事から「蘇鉄」と名付けられました。庭木としてもよく利用されます。



前野展望台

おすすめの観光名所「天城岳松原登山道／カームイの滝／マチャラの滝／マムイの滝」

空港からわずか 10 分で行ける世界自然遺産地域！～天城岳松原登山道～

徳之島第二の高さを誇る天城岳（標高 533m）の天城町松原側からアプローチするルートの一部区間に、全長約 930m の自然歩道が整備され、今年 3 月 12 日に開通しました。天城岳松原登山道は、大部分が世界自然遺産地域となっており、島の玄関口徳之島空港から車でわずか 10 分程でアクセスすることができます。

自然歩道の見所は、3 つの滝です。この 3 つの滝は、規模こそさほど大きなものではありませんが、それぞれが個性的な表情をしていて、見比べる楽しみがあると言えるでしょう。

【カームイの滝】

3 つの滝の中では一番手前にある滝です。この滝の見所は「滝壺」であり、滝壺の形が（水）瓶のような形をしていることから、島口で「カームイ」の滝と呼ばれてきたようです。



カームイの滝



マチャラの滝

【マチャラの滝】

落差は 20m ほどで、3 つの滝の中では最も立派な滝ですが、地域の方々にはほとんど知られておらず、今回の松原集落の皆さんへの公募から、松原を島口で表現した「マチャラ」の滝と名付けられました。

【マムイの滝】

一番奥にある滝は、落差は 10m 弱ですが、何か恥ずかしげに佇んでいるような滝で、登山道を歩いても、見過ごしてしまうこともあります。このひっそりと佇むような姿を、陰ながら「見守る」という意味で、島口で「マムイの滝」と名付けられました。是非一度お越しください。



マムイの滝

※利用の際は入口看板に記載のルールとマナーをお守りください。

[天城町役場企画課]

センターの新メンバーの紹介

奄美野生生物保護センターに3人の新メンバーが加わりました！

離島希少種保全専門官

釣谷 洋輔（つりや ようすけ）

5月に赴任したばかりですが、これから主にノイヌ・ノネコ・ノイヌ対策や密猟・密輸対策に取り組んで行きます。島の宝 前職：株式会社 環境指標生物 環境部 技術営業主任 である希少種を未来へ引き継いでいけるよう尽力します。

釣谷さんから皆さんへメッセージ

皆さん初めまして、釣谷（ツリヤ）と申します。本職に就く前は東京の環境調査会社に約20年勤務し、国内のあちこちの生きものを調べることを生業としておりました。主な専門はリョウハホ（両生類・爬虫類・哺乳類）です。鳥と魚も少しは分かります。昆虫と植物は・・・勉強中です。生き物屋としては憧れの地、奄美で自然保護に携わる仕事に就くことができました。これまでの経験を生かしつつ人と自然を繋いでいけるように、奄美のことをもっと学んで行きたいので、皆さん色々教えてください。新人シマッチュをどうぞよろしくお願いいたします！



好きな言葉
日は好日



プライベートなお話

好きな食べ物：お肉とお魚
好きな動物：にょろにょろした生きもの
趣味や挑戦したいことなど：名前の通り、釣りがライフワークです。海洋資源も大切にしながら、いろいろな魚を釣っていきたいと思います。

アクティブレンジャー

白石 大晴（しらishi たいせい）

出身：奄美大島
前職：専門学生

白石さんから皆さんへメッセージ

皆さんこんにちは、白石です！幼い頃から高校卒業までは奄美大島で過ごしていました。その後、2年間東京の専門学校で環境保全について学び、この度大好きな奄美大島に帰ってくることができました！まだまだ未熟者ですが、先輩方や島の方々にたくさん学ばせていただき、奄美大島の環境や文化の保全に貢献している人たちの一員になりたいと思っていますので、よろしくお願いいたします！お会いする機会があれば気軽に声をかけていただけると嬉しいです。



解剖中です！



プライベートなお話

好きな食べ物：カレー
年齢：20歳
趣味・挑戦したいことなど：シュノーケリング、サーフィン、釣り、掃除、音楽、キラキラした物集め、古着コーデ、生きもの・星空観察、風景画、ダイビング、ワーキングホリデー、旅行（多趣味すぎて忙しいです・・・）

大和村地域おこし協力隊
奄美自然体験活動推進協議会

相田 龍二（あいだ りゅうじ）

出身：新潟県
前職：大学生

執筆者の相田から皆さんへメッセージ

皆さん初めまして、相田と申します。今年度より大和村の地域おこし協力隊として保護センターで勤務することになりました。昨年度までは大学生で、理学部で物理と数学を専攻していました。現在は修正重力理論を研究するために基礎勉強を続けています。こんな私ですが生きものと自然、そして奄美が大好きです。特に私は雪国の出身なので、奄美の気候も自然も全てが新鮮です。任期は3年ですが、世界の宝である奄美の自然を守り、また魅力を発信して行けるよう尽力していきたいと思っています。



好きな言葉
自然の書物は数学の言葉で書かれている



プライベートなお話

好きな食べ物：ゴーヤ、ミスド
趣味：自然観察、登山、宇宙論の研究、ネットフリックス、映画・音楽鑑賞
挑戦したいことなど：奄美の自然を知り尽くす。ツチカメゴキブリを捕獲する。修正重力理論の専門家になる。本格的に天体観測を始めたいと思います！